

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

令和7年4月 成果指数決定
令和8年6月 評価結果を決定

(2) 評価の方法

本計画の初年度に目標の達成状況を評価するための指数を検討する。計画期間終了後、指数に基づく評価を実施し、評価結果はホームページ等で公表する。

4. 総合的な所見

施設整備計画に掲げていた事業について、概ね計画通り目標を達成することができた。
中学校校舎棟等の照明器具のLED化により、生徒・教員に適切な照度を確保し、教育環境の改善するとともに、施設の脱炭素化を実施することができた。
また各校のバリアフリー化の実施により、安心して安全な教育環境を整備するとともに避難所機能の強化に繋がった。

5. 各目標の達成状況

(1) 老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

中山小学校の教室棟を個別施設計画に基づき、建物の長寿命化を図るための予防的な改修として屋上防水の改修を行った。

(2) 新時代の学びを支える安全・安心な教育環境の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

清田小学校をはじめ、バリアフリー化が完了していない一部小中学校にスロープ、バリアフリースイレを整備し、各学校に通う要配慮児童の学校生活環境の改善を図るとともに、避難所機能の強化に繋がった。

(3) 教室不足の解消等を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

中学校校舎棟等の照明器具のLED化により、生徒・教員に適切な照度を確保し、教育環境の改善を図った。また、施設の脱炭素化を実施することができた。

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	整備方針				事業完了 年月日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりこわし時期を明記)
		事業単位	建物 区分	構造 区分	全事業期間 (契約～完成)			
田原南部小学校	(2)	大規模改造(バリアフリー)	校	-	R7.6～R7.10	R7.10.21		
高松小学校	(2)	大規模改造(バリアフリー)	校	-	R7.6～R7.9	R7.10.3		
中山小学校	(1)	予防改修事業	校	R	R7.3～R7.8	R7.8.25		
清田小学校	(2)	大規模改造(バリアフリー)	校	-	R7.5～R7.11	R7.11.12		
田原中学校	(2)	大規模改造(バリアフリー)	校	-	R7.6～R7.9	R7.9.26		
田原中学校	(4)	大規模改造(教育内容)	校	R	R7.6～R7.10	R7.10.21		
福江中学校	(4)	大規模改造(教育内容)	校	R	R7.6～R7.10	R7.10.22		